

平成22年4月22日

中央図書館にラーニングcommons（仮称）がオープン

4月23日(金)、中央図書館にラーニングcommons（仮称）が正式オープンします。(午後1時～1時30分、披露式・テープカット)

「図書館で静かに本を読む」という目的以外に、「自由にパソコンを使う場所はないか」「グループで相談しながら勉強したい」「グループ学習の授業を行いたい」などの要望を具体化しました。

ラーニングcommonsは、A・B・Cの3つのゾーンからできています。

◆Aゾーン

授業、講習会などに使い、それ以外の時は机・椅子などを自由に動かして、パソコンやボードなどを使って、グループで会話しながら使えるゾーンとなっています。「図書館では静粛に」というタブーを打ち破った、新しい空間です。

◆Bゾーン

総合案内カウンターは、何でも相談コーナーで、簡単な質問にはカウンターでお答えし、時間のかかる相談には後ろのコンシェルジュ的なコーナーのソファでゆっくりお話することができるようになっています。

◆Cゾーン

夏には44台のパソコンが設置され、「書斎空間」として利用できます。

図書館では、この3つのゾーンの名称を学内公募しています。

なお東図書館では、平成22年2月にミニラーニングcommonsともいえるコーナーをすでにオープンし、また霞図書館においては、平成22年3月、大幅な改修を経て閲覧席を50席以上増設しています。

【お問い合わせ先】

社会連携・情報政策室

図書学術情報企画グループ 山手紳一郎

TEL:082-424-6200、FAX:082-424-6211

ラーニングコモンズ 整備検討経過

次世代図書館の学習支援機能の柱として、平成19年度から検討開始

(平成19年度)

- ・海外先進事例調査(H29/12) 館長以下、職員3名【H19理事裁量経費】
アメリカ・オーストラリアの9大学図書館
- ・シンポジウム「次世代図書館の夢を語る」(H20/3) 開催
- ・次期教育用端末更新時に、図書館への増設方針が決定

(平成20年度)

- ・ラーニングコモンズの具体化に向けた検討開始 (H20/7-)
- ・教育研究推進本部会議、図書館運営戦略会議に、ラーニングコモンズを柱とする「次世代図書館のあり方」を提案、審議 (H20/10)
- ・次年度事業計画として、ラーニングコモンズ整備案を作成(H20/11)
- ・オーストラリア Flinders大学に職員派遣【INU】ラーニングコモンズ運用調査 (H20/11)
- ・東京大学 現代GP シンポジウム 2009 -アクティブラーニングのための学習空間を創る- に参加 (H21/2)

(平成21年度)

- ・アクセシビリティセンター、グループ学習室利用の**教員・学生に聞き取り調査** (H21/4-10)
- ・「次世代図書館サービス構想」WG報告(H21/9)
- ・**戦略的活用財源で予算措置**(H21/9) 「中央図書館ラーニングコモンズの整備」
- ・他大学・メーカー見学、レイアウト、家具什器類の選定作業(H21/9-12)
- ・施設工事(H21/11-H22/2)、移転作業・OA床施工・什器設置(H22/3)

ラーニングコモンズ 今後の予定・課題

- ・名称を学内公募 (H22.5-)
- ・教育用端末の増設 (H22.9)
- ・中央図書館グループ学習室の防音性能改善
- ・霞図書館におけるラーニングコモンズ空間の整備
- ・さらなる学習支援サービスの展開
ライティング支援など LA(ライブラリ・アシスタント)活用

ラーニングコモンズ紹介パンフ 版 平成22年4月 広島大学図書館
<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学図書館

Hiroshima University Library

ラーニングコモンズ (仮称) 誕生

Learning Commons is open

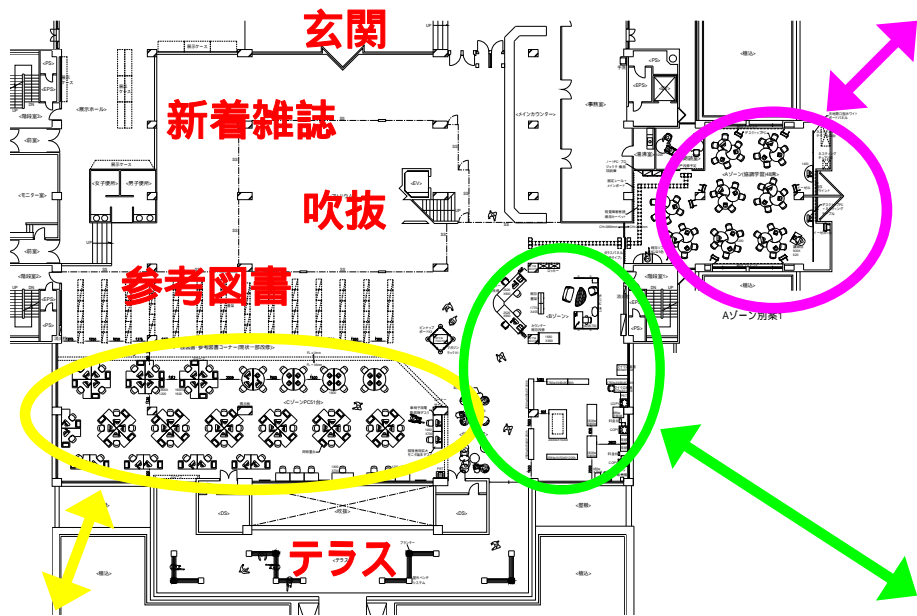
図書館の新しい空間
2010.4 オープン

<ラーニング・コモンズ>とは

欧米で急速に一般化した大学図書館の新しい学習スペース。
従来型の静粛・個人学習中心の閲覧室とは異なる、
「人」と「書物」、「人」と「情報」、「人」と「人」が出会う <開かれた空間>
ネット資源の活用、グループ学習・作業のための <共同で学ぶ場>



近日中に名称の公募開始 今秋、さらにパソコン増設



グループ学習ゾーン 174㎡



可動式テーブルを中心とするグループ利用のためのスペース
他のエリアとは、ガラス扉で区分

- (主要設備)
 可動丸型テーブル(6人用) 8セット
 半円形テーブル 2台 スタッキング小机 14台
 椅子 50脚 可動式ホワイトボード 9台
 携帯スクリーン プロジェクタ
 無線LAN設備 パソコン 10台(H22.9予定)

パソコン・書斎ゾーン 371㎡



大型L字型テーブル、円形テーブルを組み合わせた、滞在型利用のためのスペース
パソコンを配備、ハイブリッドな利用を想定。身障者対応の机面高さの電動式テーブルを配置

- (主要設備)
 L字型机 46台 円形テーブル 4台
 長机 7台 椅子 71脚
 電動式机面可動機(障がい者対応) 2台
 パソコン 44台(H22.9)
 英語OS端末 3台
 OA床施工



パソコンが自由に使える書斎ゾーン風景

総合案内カウンターとその周辺 288㎡



ゆっくりと対応するコーナーを持つ、よろず質問を担当する総合案内カウンター
奥窓面は、複写・マイクロ機器及びワークエリア



書斎ゾーン脇に位置する新着展示・休憩コーナーからテラスを望む



電図書館の概要

沿革

- 昭和56年5月 附属図書館医学分館として竣工 (地上2階2,077㎡)
- 昭和56年9月 原爆放射能医学研究所図書分室を統合して、開館
- 平成20年4月 「医学分館」から「霞図書館」に改称
- 平成22年3月 隣接する「旧工事事務所」に閲覧室を拡張・改修 (地上2階 2,382㎡)

蔵書

- 図書 207,273 冊 雑誌 8,290 タイトル (平成20年度末現在)
- 利用できる電子ジャーナル数 14,067 タイトル
- 年間受入数 図書 2,846 冊 雑誌 1,927 タイトル (平成20年度実績)

開館日・開館時間

- 平日 8:30-22:00 土日 9:45-19:15 (3月のみ 10:00-18:00)
- 休館日 祝日 年末年始(12/28-1/4) 定例整理日 第1・第3月曜日午前中
- 年間開館日数 325日 (平成20年度実績)

特色ある活動・図書館サービス

霞地区(医歯薬)学生・職員、大学病院医師・医療スタッフ(約3,800人)を主たる利用対象とする医学分野の専門図書館である。
また、広島県内最大の医学専門図書館として、地域医療関係者をはじめとする一般市民の利用にも供している。

広島大学霞図書館 Hiroshima University Kasumi Library

閲覧室拡張・改修の概要 Outline of extension & improvement for students



大学病院バス停

電図書館

〒734-8552
広島市南区霞1丁目2番3号
JR山陽本線・山陽新幹線
「広島駅」よりバス
「大学病院」(終点) 下車
. 082-257-5902
Fax. 082-257-5904
E-mail toshu-fukyu-hirp@office.hiroshima-u.ac.jp
図書館へのご意見ご質問
<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/iken.html>

平成22年4月
April 2010

【整備のねらい】

霞図書館施設の狭隘解消
学習環境の整備
学習支援サービス機能の強化

【実現のための方策】

資料保存機能の中央図書館集約方針
図書館施設の拡張(旧工事事務所部分)
学長裁量経費の確保

【今回実現した改善】

閲覧室拡張 閲覧座席の増設
開架書架更新 図書 雑誌の配置入替
トイレの改修

【整備の経過】

医学部保健学科設置(平成4年度)、逐次進行した大学院拡充による利用者の大幅増と経年の学術資料の蓄積によって、狭隘化が急速に進行。

- ・平成10年度以降 増築改修の概算要求(～H17概算まで)
- ・平成17年度 旧工事事務所を資料保管スペースとして借用
- ・平成20年度 旧工事事務所の借用期限(H21末)に向けた将来構想の検討
- ・平成21年度概算要求<全面改修> (H20.7)
- ・平成21年3月 玄関周りの小改修、閲覧席増設
- ・平成22年度概算要求<全面改修> (H21.7)
- ・霞地区部局長会議、霞図書館に対する意見集約検討WG (H21.7) 改修整備の基本的方針を確認
- ・学長裁量経費「閲覧室の拡張・改修」が採択 (H21.9)
- ・霞図書館トイレ改修 (H21.9-11)
- ・雑誌バックナンバー(1994以前 約7万冊)を中央図書館に移転
- ・閲覧室拡張改修 (H21.12-22.3)
- ・開架書架更新、館内資料再配置、閲覧席等の配置 (H22.3)

【整備の概要】

旧工事事務所部分 改修対象:南側半分 176㎡
既存閲覧室との間に開口2ヶ所を設け、開架図書室に改装
1階開架閲覧室 改修対象: 集密書架設置 101㎡
老朽化した集密書架を撤去し、開架図書室に転用
開架書架の更新
既設閲覧室の天井まであった書架を撤去
図書 雑誌の配置フロアの入替
1階メインフロアに学習図書を配置
閲覧席の増設 212席から298席へ
H20-21の整備により、地区学生数の10%以上をクリア

【今後の施設・設備面での課題】

- 1) 全面改修の実現
旧工事事務所北側スペースの活用
全館的な内装・空調 事務スペースの見直し など
- 2) ラーニング・commons空間の設置
1) が困難な場合は単独にも取り組むべき課題
2階西側を想定

